

学校番号	学 校 名
27	大垣工業高等学校（全日制）

## 令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校教育目標	誠実にして強くたくましい心と身体をもち、心豊かな人間性と確かな知識・技術を兼ね備え、創造性に富む実践的な産業人の育成を図る。		
スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP）	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP）	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさとを愛し、人権を尊ぶ協調の精神をもち、グローバルで持続可能な視点を有し、地域の発展に貢献できる実践力と問題解決能力を身につけた生徒</li> <li>将来のスペシャリストをめざして、絶えず新たな知識や技術を習得する創造性豊かな生徒</li> <li>心身ともに健康で高い志をもち、社会から信頼され、チャレンジ精神をもった生徒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科の授業・実習等では、課題解決へ向けて「主体的、対話的で深い学び」や「探究的な学び」の推進</li> <li>学ぶことや働くことの意義、目的をしっかりと考え、コミュニケーション力の向上を図り、ものづくりに関する知識、技能だけでなく、技術の変化に対応できる力の育成</li> <li>生徒一人ひとりの個性や長所が伸長でき、深い学びを実現するためのカリキュラムの編成と個々に応じた細かな指導の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業の分野に興味をもち、主体的、継続的な学びの姿勢で、未知の領域に挑戦しようとする意欲と熱意をもっている生徒</li> <li>幅広い教養と高い専門性を得るため、自ら積極的に学び、考え答えを導きだそうとする行動力をもっている生徒</li> <li>部活動、生徒会活動、地域活動に積極的に参加し、より良い学校や社会を築いていこうという意欲のある生徒</li> </ul>
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策		達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 生徒の学習意欲を高め、確かな力を身に付けさせる教育の推進	<ol style="list-style-type: none"> <li>ICTの活用による学習活動の充実とともに、教科ごとに目標を定めた実践を継続し、わかる授業を実現し、生徒の確かな学力の育成を図る。また、不断の授業改善に努める。</li> <li>学習したことを発表したり議論したりする機会を設け、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた新しい教育課程の着実な実践と3観点に基づく評価の確実な定着をめざす。</li> <li>教科の目標に即した言語活動や、ものづくりなどの課題の発見や解決を通して学習する機会等を充実することにより、社会の変化に対応できる思考力、判断力、表現力を育成する。</li> <li>5S運動の推進や授業規律の徹底により、安心・安全で落ち着いた学習環境を構築する。</li> <li>補習や放課後の学習等を通して、生徒の進路目標や特性に応じた個別最適な学びを実現する。</li> </ol>		<ol style="list-style-type: none"> <li>生徒による授業評価の結果</li> <li>教職員の自己評価および生徒による授業評価の結果</li> <li>生徒による授業評価の結果、生徒・保護者アンケートの回答内容</li> <li>事故発生件数およびヒヤリハットの発生件数</li> <li>進路希望に対する実現結果</li> </ol>
2 生徒に軸足を置いた豊かな人間性を育てる教育の推進	<ol style="list-style-type: none"> <li>学校行事や部活動等における豊かな体験を通して、自己の居場所や役割を実感させるとともに、集団を構成する一員としての責任を自覚させる。</li> <li>共感的な理解に基づいて、生徒や保護者と望ましい人間関係を構築した上で、是々非々を明確にした指導を行うことにより、倫理観や規範意識を醸成し、自己指導能力を育成する。</li> </ol>		<ol style="list-style-type: none"> <li>生徒・保護者アンケートの回答内容</li> <li>生徒・保護者アンケートの回答内容</li> </ol>

	<p>③ 交通安全、情報モラル、いじめ防止、薬物防止、自殺防止等に関して積極的に啓発し、自他の生命を尊重する態度や人権感覚を身に付けさせ、問題行動を未然に防止する。</p> <p>④ 支援を必要とする生徒に対して、ケース会議の開催やスクールカウンセラー・スクール相談員の活用、外部の専門機関との連携など、組織的な生徒指導により個に応じた支援を充実する。</p>	<p>③ いじめ件数の前年度比較といじめへの対処状況に関する生徒・保護者アンケート結果</p> <p>④ 研修・ケース会議の実施回数等の実績ならびに支援対象生徒の生活や学習状況の変容に関する関係者評価</p>
<p>3 一人一人が帰属意識をもち生涯を見通した進路意識を高揚させる教育の推進</p>	<p>① 進路情報の提供や面接相談等による個に応じた適切な進路指導、および「大工未来手帳」の活用指導を通して、生徒のキャリア設計能力や自己実現力を育成する。</p> <p>② 企業・現場訪問、卒業生と語る会、インターンシップ、企業展等、就業に関わる体験的な学習や外部の教育力を活用した教育活動を通して、望ましい勤労観・職業観の育成を図る。</p> <p>③ 学科の特性や希望職種に応じた資格取得を積極的に推進し、高度な専門性を身に付けさせる。</p> <p>④ 国公立大学進学希望者をはじめとする四年制大学・短期大学・専門学校等の進学希望者に対する進路指導体制を充実し、進学希望者の進路実現を図る。</p>	<p>① 「大工手帳」と「進路の手引」の活用状況調査の結果</p> <p>② 企業との連携（企業訪問・連携事業）および求人数・進路内定率・定着率の調査結果</p> <p>③ 資格試験の受験者数および合格者数</p> <p>④ 進学ガイダンス等への参加数や基礎力診断テストの判定結果</p>
<p>4 地域に開かれた信頼される学校づくり</p>	<p>① 持続可能な開発に関する教育を行うとともに、工業の学びを活かした社会貢献活動を推進することにより、グローバルな視点をもった地域社会人を育成する。</p> <p>② 地域行事への参加や学校公開を推進するとともに、ホームページや報道による情報発信により、工業教育に対する保護者や地域社会の理解を深め、生徒のコミュニケーション能力を高める。</p>	<p>① テクノラボでの製作及び贈呈状況と課題研究発表アンケート結果</p> <p>② 地域イベント等への参加数、ホームページへの情報発信数</p>